

P8310785.JPG 2019/03/18

慶応四年八月二十四日より慶応四年八月晦日(三十日)まで

P8310785right

廿四日辰 雨午下漸晴

岡本せき来り、蒸菓一折小品添持来、一杯を勧め一額を遣す

廿五日巳 陰夕前晴雲

礫川移居

薄晩前、礫川挙家長□は留守、引移り来り永持富沢等へ迄、小品持来、上□□致す

廿六日午 雨意

休左衛門へ命じ須崎常紹介文通を為持、山田清次郎方へ遣し、且名主荒川へも為立寄候
処不在の趣、君塚常運送荷の儀に付来り、午飯を設く、運貨五円□候、山下より□女
来り小品持来午飯を設く、村田貞より鮭二尾贈り来る、一尾を永持へ分与す

廿七日未 雨午下止夕前晴 無記事 八金の荷物前の内空助へ托し上総表へさし立る

P8310785left

廿八日申 陰午下漸薄夕震

旧婢トミ方より柿実数個、贈り来る、山本長来る、近日家族同様同居の儀頼聞る、山下泉来
る

永持方にて面す、山下金来り鰻券一方贈らる、永持方に□て面し酒肴を設く

廿九日酉 晴

金蔵へ本日永の暇をとらせ手当金其分数品遣す、細谷秀来る不面し帰る

晦日戌 雨午前止漸に晴

金蔵母此の謝に来る、本日より休左家内をして炊煮の勞を□らしむ手当遣す、須崎常さん
ま

数尾持来一杯を勧む、山本小君出産の□褥の催にて夕刻女兒と共に一と先□帰宅す、姑は
留る

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。